



厚生労働省

下関労働基準監督署からのお知らせ

令和6年9月

業種別労働災害発生状況

○令和6年8月末現在

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)

下関労働基準監督署
令和6年8月末現在

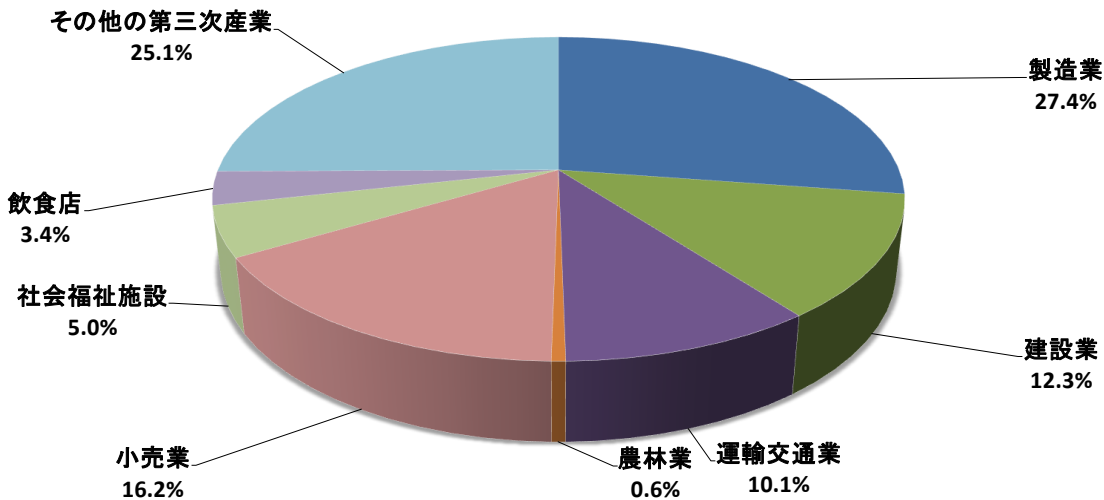
新型コロナウイルス感染症
患による労働災害を除く。

業種	死亡 (前年同期値)	休業災害	合計	構成比※	対前年 増減率	うち転倒災害件数				
						死亡	休業災害	合計	構成比※ 占有率	
全産業	0 (1)	179	179	100.0%	+15 +9.1%		50	50	100.0%	27.9%
製造業		49	49	27.4%	+1 +2.1%		11	11	22.0%	22.4%
鉱業					±0 -					-
建設業		22	22	12.3%	+12 +120.0%		2	2	4.0%	9.1%
運輸交通業		18	18	10.1%	-4 -18.2%		4	4	8.0%	22.2%
貨物取扱業					-1 -100.0%					-
農林業		1	1	0.6%	-4 -80.0%					
畜産・水産業					±0 -					-
第三次産業	(1)	89	89	49.7%	+11 +14.1%		33	33	66.0%	37.1%
小売業		29	29	16.2%	+11 +61.1%		9	9	18.0%	31.0%
社会福祉施設	(1)	9	9	5.0%	-7 -43.8%		4	4	8.0%	44.4%
飲食店		6	6	3.4%	-3 -33.3%		2	2	4.0%	33.3%
その他の第三次産業		45	45	25.1%	+10 +28.6%		18	18	36.0%	40.0%

※端数処理上、合計値が100%にならないことがある。

労働者死傷病報告による

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)



下関労働基準監督署管内において、令和6年8月末までに発生した労働災害は179人で、前年同期と比較して、15人増加しました。

製造業は、49人と前年同期と比較して1人増加しました。最も多い事故の型は「転倒」と「はさまれ・巻き込まれ」の11人で、前年同期と比較して「転倒」は3人増加し、「はさまれ・巻き込まれ」は増減ありませんでした。

建設業は、22人と前年同期と比較して12人増加しました。最も多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の7人で、前年同期と比較して6人増加しました。続いて多い事故の型は「墜落・転落」の5人で、前年同期と比較して3人増加しました。

小売業は29人と前年同期と比較して11人増加しました。最も多い事故の型は、「転倒」の9人で、前年同期と比較して5人増加しました。続いて多い事故の型は「交通事故」の7人で、前年同期と比較して3人増加しました。

全業種で最も多い事故の型は「転倒」の50人で、前年同期と比較して13人増加しました。